

## [03\_04]九州大学大型計算機センター広報 : 3(4)

<https://doi.org/10.15017/1467969>

---

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (4), pp.1-56, 1970-08-26. 九州大学大型計算機センター  
バージョン :  
権利関係 :

## 編 集 後 記

広報Vol. 3 No. 4 をお届けします。

すでにセンター・ニュースでお知らせしていますが、機器構成変更のために8月22日より計算業務をストップいたします。第1期の変更は磁気コア、磁気ドラムの増設です。コア32K語の増加によって九大センターのコアは160K語となります。

センターでは、一般のジョブ（A・B・C）のユーザー領域は現在通り64K語としていく方いく方針を持っていますので、この増設によって一般利用者が受ける利益は、“処理効率があがってターン・アラウンド・タイムが短くなる”ということでしょう。また、来年3月末にはファイル関係の変更が行なわれる予定です。現在試験的に共同ボリューム、私用ファイルの使用を認めており、すでにお使いの方もありますが、この変更が行なわれますと私用ファイルとしての利用領域を大幅に増すことができます。すでに完成したプログラムは相対形式あるいは実行形式のプログラムとしてファイルに登録しておけば、大きなデックを持ち運ぶ必要もなくなりますし、CPU時間も減少します。これは利用者へ便宜をはかるばかりでなく、センターとしても入力等の手間が省けますし、CPUを効果的に使用することが可能となります。特に遠隔地の利用者にとっては、郵送の関係上便利になると期待しています。

資料のページに新しいライブラリ・プログラムを掲載しています。利用者が開発されたプログラムのうちで、有用と思われるものをライブラリ専門委員会の許可を得て登録したものです。大いにご利用ください。また、利用者のプログラムでライブラリとして役立つようなものは、センターの共有財産として提供していただくようにお願いします。登録手続き等は次号広報に掲載する予定ですが、質問などがありましたらセンター・ライブラリ室までお問合わせください。

7月末より計算機のハードの故障や空調機故障のため、数日間計算業務がストップして利用者の皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。現在上記のような特別の故障が起こらないかぎり、Aジョブは30分以内、Bジョブで半日という返却状態が保たれているようです。夏休みも終わりますと徐々に計算件数も増加することと思います。現在のターン・アラウンドのペースがこわれないうにと願うのは利用者、センター共通のものでしょう。

（津 田 記）